

## うつのみや生きものつながりプラン（後期プラン）の骨子（案）について

### ◎ 趣 旨

うつのみや生きものつながりプラン（宇都宮市生物多様性地域計画）（以下「プラン」という。）における後期プランの骨子（案）について報告するもの

### 1 プランの概要

#### (1) プランの目的

本プランは、本市の特徴やまちづくりの方向性を踏まえ、生物多様性保全に向けて目指すべき将来像や基本方針を示し、市民、市民団体などの様々な主体との連携・協働により、生物多様性保全に関する意識の醸成を図るとともに、市域全体で総合的な生物多様性保全の取組を推進するため策定した。

#### (2) プランの位置付け

- ・ 生物多様性基本法第 13 条に基づく計画
- ・ 「第 6 次宇都宮市総合計画」の基本施策「環境への負荷を低減する」を実現するための、「宇都宮市環境基本計画」のうち、生物多様性の保全に関する取組を推進するための基本方針や施策を示すもの

#### (3) プランの期間

平成 28 年度～令和 7 年度までの 10 か年

（※今回の改定は、後期 5 か年にあたるもの）

### 2 後期プラン改定の方向性

#### (1) 改定の基本的な考え方

- ・ 今年度、改定する環境基本計画との整合を図るとともに、SDGs 達成のための考え方を踏まえた見直しを行う。
- ・ プランが掲げる将来像や基本方針に基づく生物多様性保全の更なる取組推進のため、前期プランの取組評価、本市を取り巻く状況、市民・事業者アンケートの調査結果、自然環境保全団体へのヒアリング結果、専門家の意見を踏まえて課題を総括し、基本施策及び事業、重点事業、取組指標の見直しを検討する。

#### (2) 検討内容

- ・ 成果指標である認知度向上に向け、生物多様性における更なる意識の醸成に関する施策の検討
- ・ 本市の地域特性を踏まえた生きものの生息・生育環境の保全策の検討
- ・ 社会状況の変化や国、県等の動向を見極めながら、外来種の移入に備えた更なる効果的な外来種対策及び気候変動への緩和・適応策の検討

### 3 後期プランの骨子（案）

#### (1) 将来像について

平成28年に本プランを策定し、将来像『人と生きものが 育みあうまち うつのみや』の実現に向けて、各種事業による生物多様性保全を推進してきたところであるが、この将来像は現在においても本市が目指すべき生物多様性保全のあり方を的確に示していることから、引き続き、本プランの将来像とする。

##### 【将来像】

人と生きものが 育みあうまち うつのみや

#### (2) 基本方針について

2つの基本方針については、将来像の実現に向けて、「人」と「生きもの」を育んでいく視点において、意識を育むとともに行動を促すためのプランの根幹であることから、後期プランにおいても引き継ぐこととし、より市民にわかりやすく親しみやすい表現とするため、基本方針1については、「生物多様性（人と生きものつながり）の大切さを知る」、基本方針2については「生物多様性（人と生きものつながり）を守る」に変更する。

##### 【基本方針1】

生物多様性 **（人と生きものつながり）** の大切さを知る

##### 【基本方針2】

生物多様性 **（人と生きものつながり）** を守る

#### (3) 後期プランの基本施策及び方向性 **別紙3**, **別紙3-1**

課題の総括から基本施策ごとに今後の方向性を検討、整理した結果、課題解決へ向け、前期プランにおける基本施策の体系との整合が図れることから、後期プランにおいても従前の体系を引き継ぐこととし、基本施策ごとの方向性に基づき、具体的な施策や取組指標等について検討していく。

次回素案として  
具体化

【基本施策 1】

自然に親しむきっかけづくり

【今後の方向性】

- ◎ 身近でわかりやすく、**各世代に適したメディアを通じた**情報提供
- ◎ 身近な自然とふれあう**体験型プログラムの充実**

【基本施策 2】

学ぶ場の創出

【今後の方向性】

- ◎ **地域や学校との連携強化**による出前講座の充実
- ◎ **学校等の連携強化**による学ぶ場の充実

【基本施策 3】

活動へつなげる支援

【今後の方向性】

- ◎ 活動を支える人材を育成し、**活動への参画へつなげるシステムの構築**
- ◎ **多様な主体間の連携強化**による活動活性化への支援

【基本施策 4】

生きものとその生息・生育環境の保全

【今後の方向性】

- ◎ 自然環境における現況・経年変化の**把握と活用**
- ◎ 地域特性に応じた効果的な保全活動の充実
- ◎ **団体の活動を促進する**支援の充実
- ◎ 里地里山の保全に**地域が主体的に参画できる取組の充実**

【基本施策 5】

生きものとその生息・生育環境の変化への対応

【今後の方向性】

- ◎ 外来種の侵入とその影響に関する**調査研究と活用**
- ◎ **多様な主体間の連携強化**による活動活性化への支援
- ◎ **地域特性に応じた防除の推進**
- ◎ **気候変動の影響も踏まえた現況・経年変化等の把握と活用**

成  
果  
指  
標

【施策】

・事業  
重点事業  
＝取組指標

4 今後のスケジュール

令和2年	9月30日	環境審議会（骨子の報告）
	11月 下旬	環境審議会（素案の報告）
	12月	パブリックコメント
令和3年	2月 下旬	環境審議会（後期プランの報告）
	3月	庁議、公表